



ヤマエ

グループホールディングス

2 0 2 3 年 3 月 期
決 算 説 明 資 料

2023年5月10日

東証プライム・福証

証券コード
7130

目次

1. 2023年3月期決算概要	P. 1～9
2. 2024年3月期通期業績及び配当予想	P. 10～12
3. トピックス	P. 13～21
参考資料	P. 22～35

※ 金額表記は表示単位未満を切捨て、%表記は四捨五入して記載しております。



1. 2023年3月期決算概要

決算ハイライト

売上高ならびに各利益項目すべて過去最高

【連結】2023年3月期

単位：億円	2022年3月期	2023年3月期		
			増減	増減率
売上高	5,036	5,879	+843	116.7%
売上総利益	503	681	+178	135.5%
販売管理費	434	566	+131	130.3%
営業利益	68	115	+46	168.3%
経常利益	78	121	+42	154.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	78	+11	117.1%
EBITDA	128	191	+63	149.2%

業態別売上高

外食需要増による業務用の売上回復、2022年4月以降にグループ入りした子会社業績の取り込み、
原料価格高騰等により増加

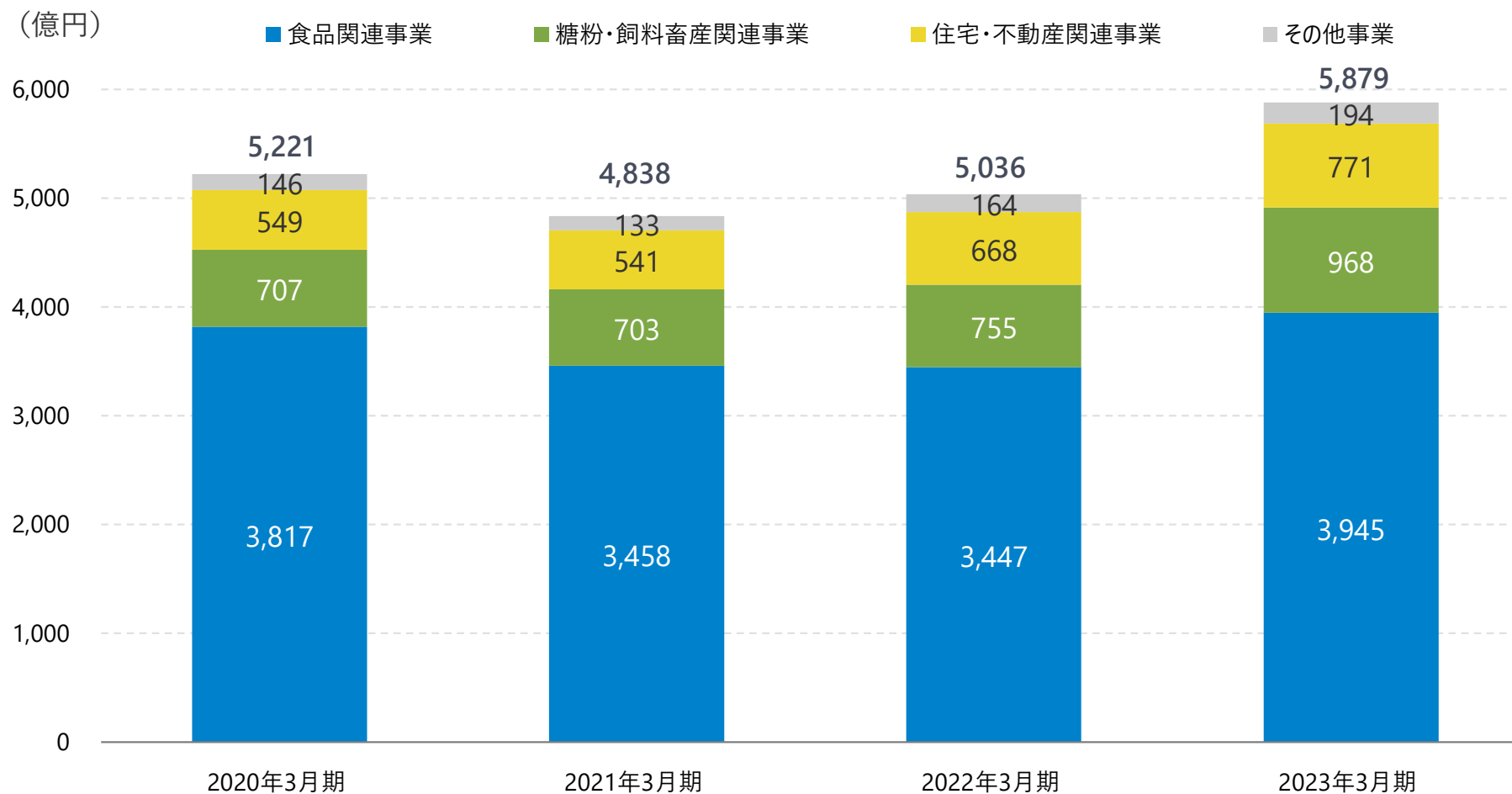
【連結】2023年3月期

単位：億円	2022年3月期	2023年3月期		
			増減	増減率
スーパーマーケット	1,642	1,703	+61	103.7%
コンビニ・ミニスーパー	555	583	+28	105.0%
ドラッグストア	290	305	+15	105.2%
その他小売業	89	229	+140	257.3%
業務用	450	653	+203	145.1%
農水畜産業・製造業	741	934	+193	126.0%
木材・住宅資材関連	645	758	+113	117.5%
卸売業・商社	348	408	+60	117.2%
その他	272	302	+30	110.0%
合計	5,036	5,879	+843	116.7%

セグメント別売上高

【連結】2023年3月期

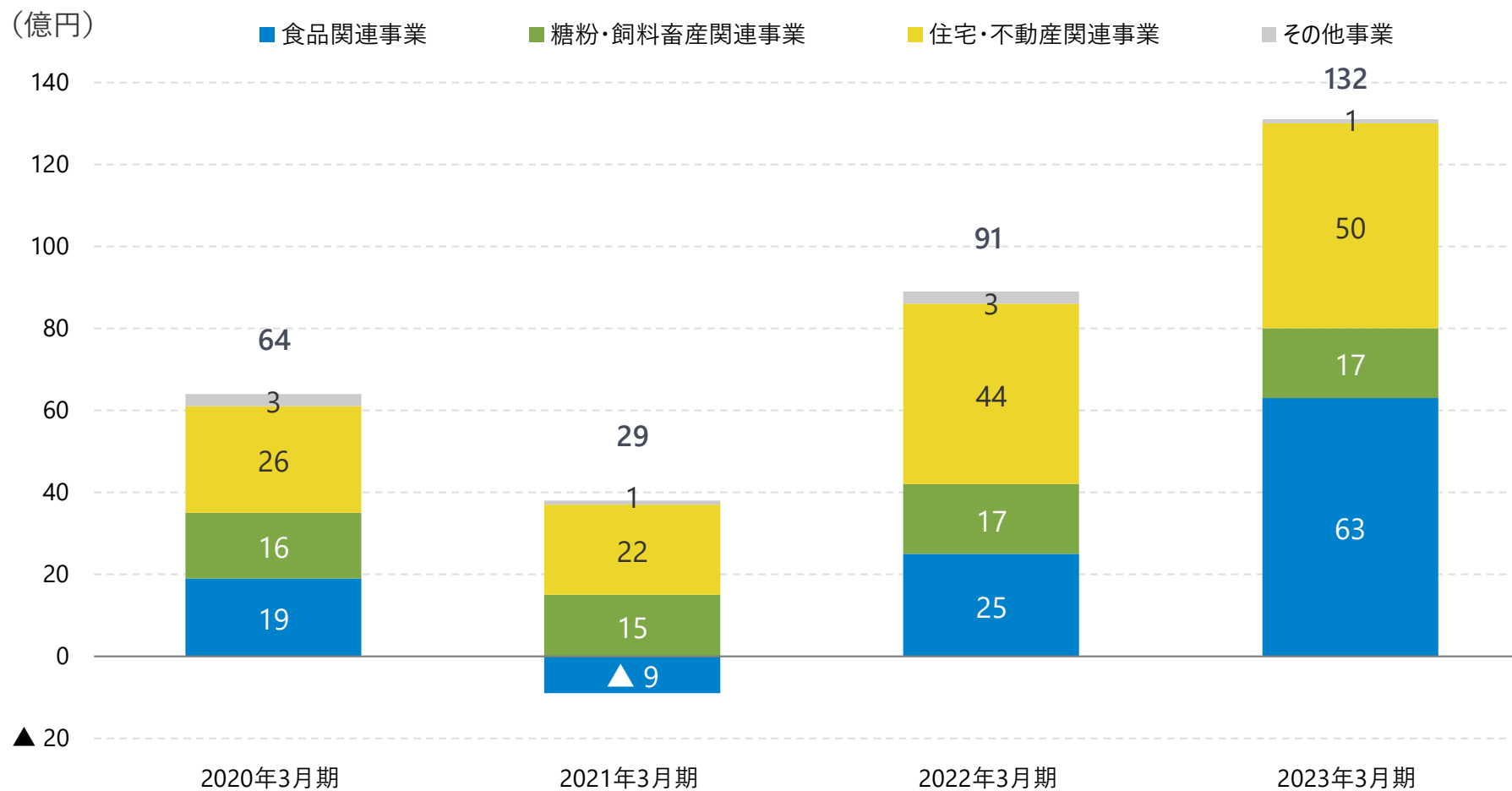
セグメント別売上高



セグメント別営業利益

【連結】2023年3月期

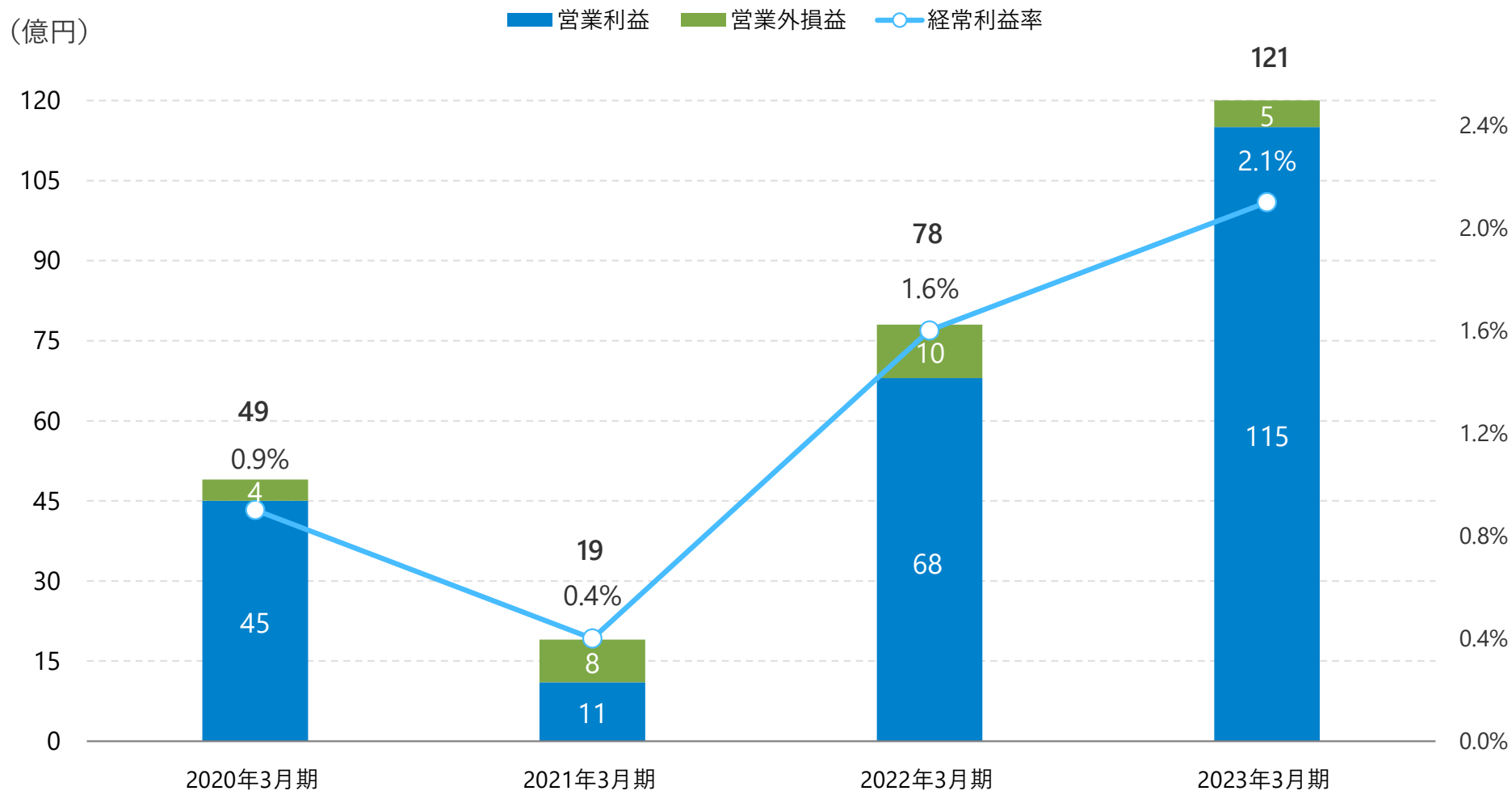
セグメント別営業利益（連結調整前）



営業利益・経常利益

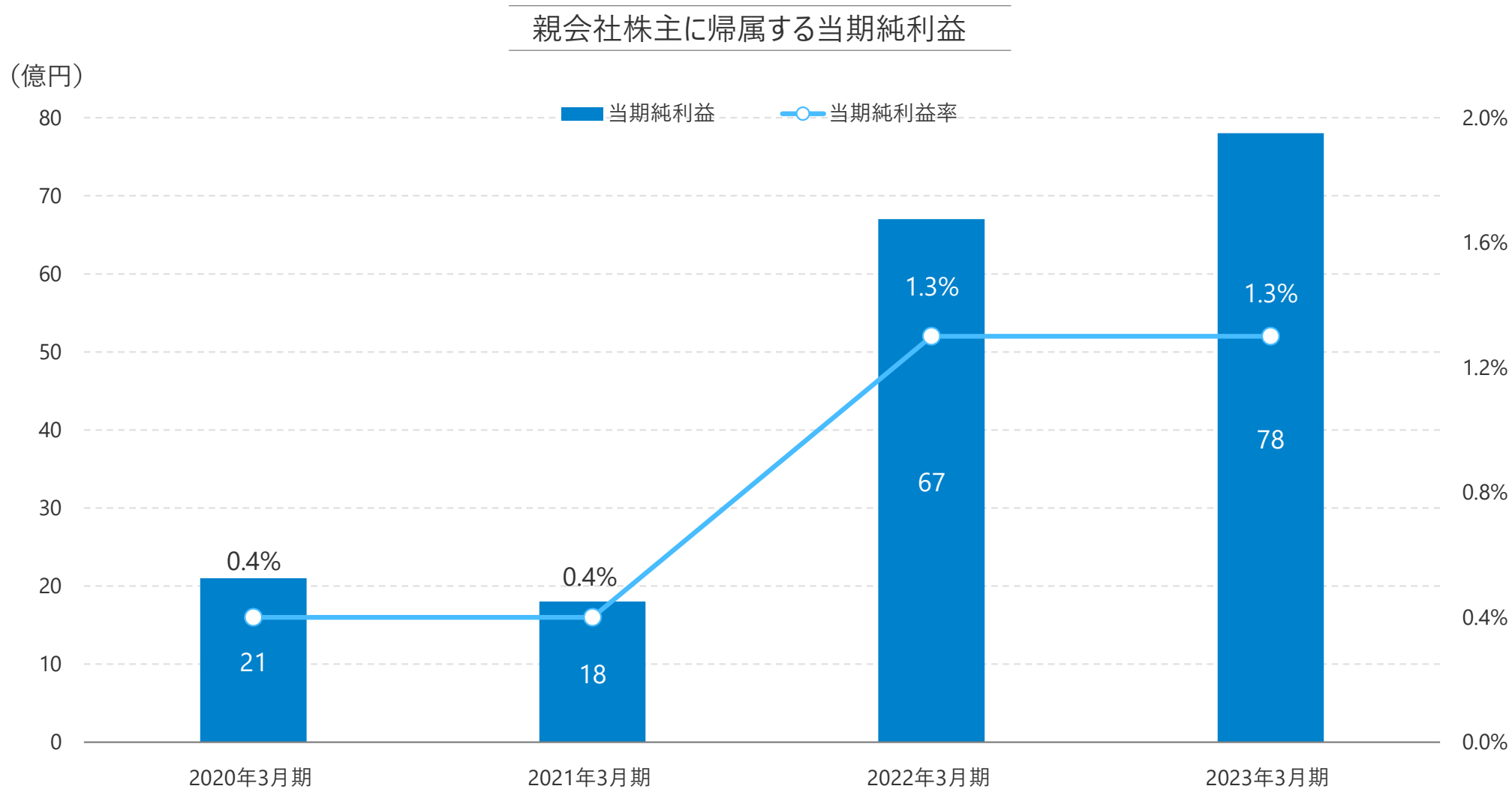
【連結】2023年3月期

営業利益・経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益

【連結】2023年3月期



貸借対照表

【連結】2023年3月期

単位：億円	2022年3月期	2023年3月期	増減	増減理由
流動資産	928	1,132	+204	・現金及び預金 + 46 ・売掛債権 + 88 ・棚卸資産 + 49
固定資産	880	1,124	+244	・有形固定資産 + 133 ・のれん + 65
総資産	1,808	2,257	+448	
負債合計	1,203	1,588	+384	・短期借入金 + 93 ・長期借入金 + 148 ・仕入債務 + 76
純資産	605	669	+64	
自己資本比率	32.1%	28.5%	▲3.5 ^{ポイント}	
1株当たり純資産	2,450円	2,720円	+270円	

キャッシュフロー

【連結】2023年3月期

単位：億円	2023年3月期	主な要因
現金及び現金同等物の期首残高	154	
営業活動によるキャッシュフロー	137	<ul style="list-style-type: none">・税引前当期純利益 +137・減価償却費(含む、のれん償却) +75・仕入債務の増加額+49・固定資産除売却損益 ▲138
投資活動によるキャッシュフロー	▲220	<ul style="list-style-type: none">・固定資産(取得 ▲111、売却 +29)・連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出▲122
財務活動によるキャッシュフロー	126	<ul style="list-style-type: none">・短期借入金の純増額+47・長期借入による収入+201・長期借入金の返済による支出 ▲83
現金及び現金同等物の期末残高	197	



2. 2024年3月期通期業績予想及び配当予想

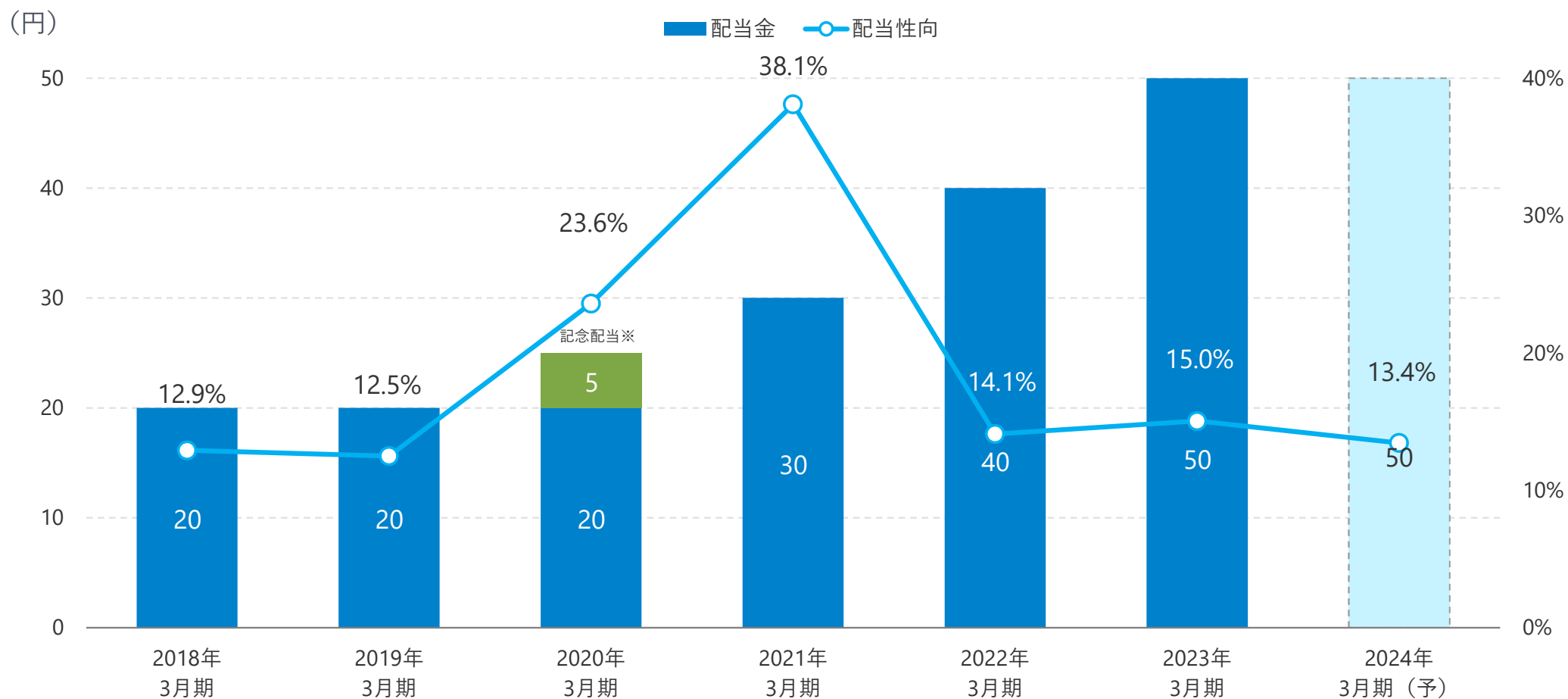
2024年3月期通期業績予想

【連結】

単位：億円	2023年3月期	2024年3月期 業績予想	増減	増減率
売上高	5,879	6,500	+620	110.5%
営業利益	115	133	+17	114.9%
経常利益	121	140	+18	115.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	78	88	+9	111.8%

安定配当を継続

配当金・配当性向



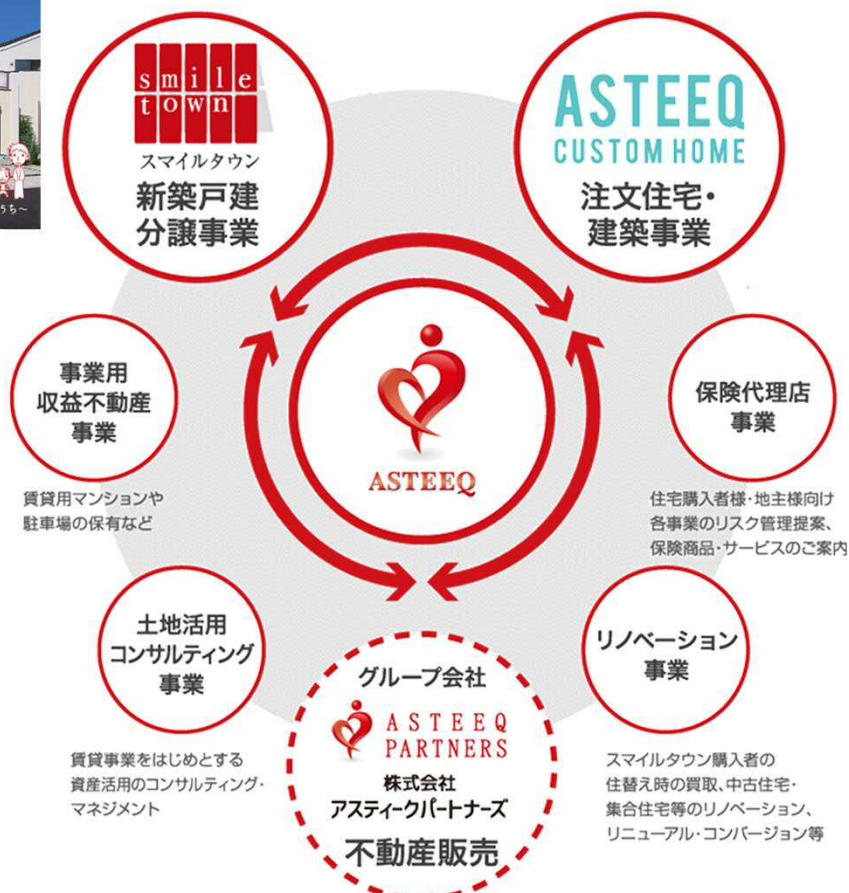
※設立70周年および東証一部上場記念



3. トピックス

アステークを子会社化（2022年4月）

東京都立川市を中心とした多摩地区エリアに、新築戸建分譲事業と注文住宅事業を主軸とした事業を展開するアステークを子会社化



プレカット材および住宅資材等の更なる販路拡大により、住宅・不動産関連事業の更なる成長を図る

トリゼンクオリティオーシャンズを設立（2022年4月）

循環型ビジネスモデルでSDGs貢献へ

ヤマエ 久野

- 全国へ広がる販売流通網
- 生産から販売までサポート

トリゼンオーシャンズ

- 循環型海域肥料の開発製造
- 農業や畜産用の肥料開発製造

トリゼンクオリティオーシャンズ 株式会社
Torizen Quality Oceans
TQO



- トリゼンオーシャンズで鶏ふんから製造された肥料（海洋専用肥料「MOFU-DX」）等を全国の生産者や自治体へ販売
- 生産された商品をブランド化し自治体、外食産業を通じて消費者へ販売

【MOFU-DX】
鶏ふんに含まれる窒素・リン・カリウムだけでなく、鉄粉などをバランスよく配合した海専用の肥料。

一次産業の生産性向上と販売流通を通してSDGsへの貢献を目指す

福岡農産を子会社化（2022年5月）

九州エリアを中心に精米の卸売、有機米の輸入を行う福岡農産※を子会社化

安全で質の高いお米を消費者へ提供

※消費者へ安全な食品を提供することを目的とした、食品安全マネジメントシステムを構築・運用するための国際標準規格ISO22000認証企業



【精米卸売事業】



5つの精米 ※加エラインを完備
※原料米、主食米、酒米、もち米、玄米

【輸入有機米事業】



輸入有機米の国内シェア約70%

九州エリアでの双方事業の更なる市場深耕と成長を図る

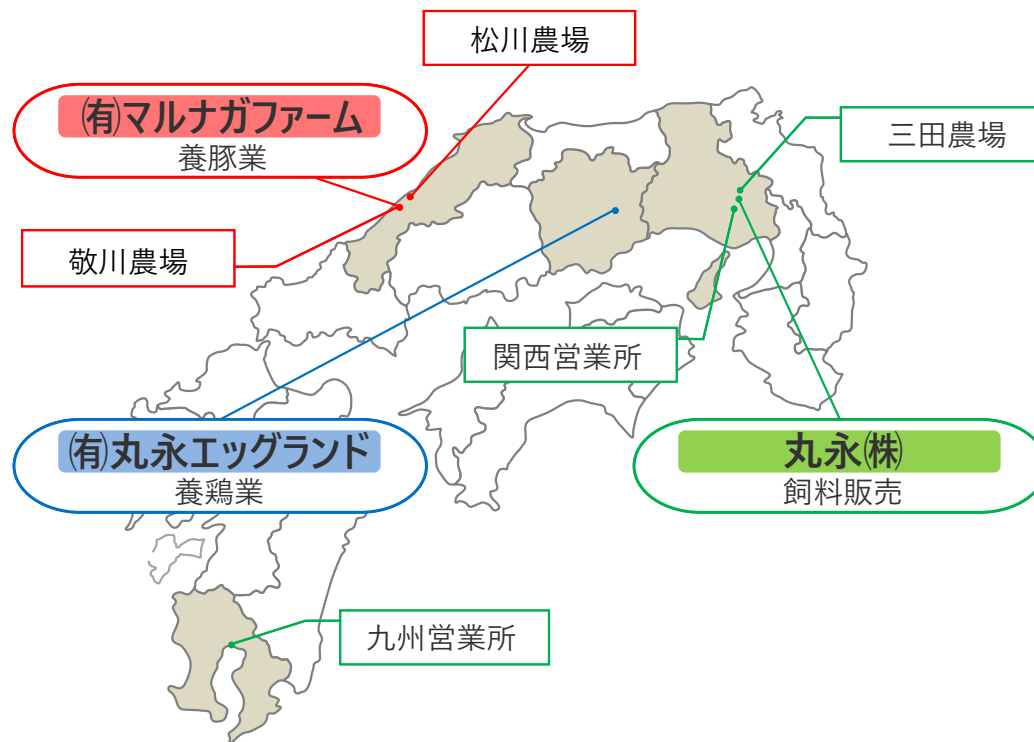
丸永を子会社化（2022年5月）

関西地区を中心に飼料を販売する丸永を子会社化

豚にも環境にも優しい豚舎



衛生・健康管理を徹底した鶏舎



広大な自然とともに佇む農場



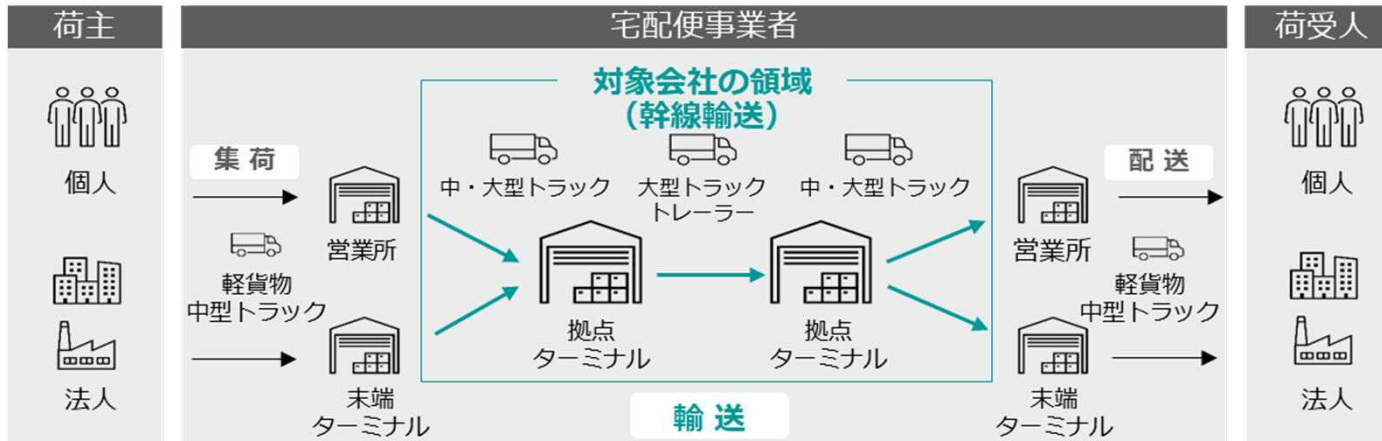
環境・家畜に合わせた飼料提案



畜産業において、関西地区での市場深耕と成長を図り、
一次産業の事業領域を拡大

九州栄孝エクスプレスグループを子会社化（2022年7月）

九州エリアの近距離輸送と全国輸送サービスを展開する九州栄孝エクスプレスグループを子会社化



4t、10tトラックからトレーラーまで幅広く車両を所有



野菜、冷凍食品から・雑貨、精密機器まで様々な荷物を全国に輸送



EIKO EXPRESS CO., LTD.

九州栄孝エクスプレス

- ◆車両台数 : 160台
- ◆ドライバー数 : 126名
- ◆主要取引先: 佐川急便様、日本郵便輸送様、ヤマト運輸様、トルエクスプレス様丸和運送様

Raigo express

ライゴエクスプレス

- ◆車両台数 : 55台
- ◆ドライバー数 : 50名
- ◆主要取引先: 佐川急便様、日本郵便輸送様

SEISHIN

誠信運輸センター

- ◆車両台数 : 52台
- ◆ドライバー数 : 39名
- ◆主要取引先: ヤマト運輸様、日本通運様日通トランスポート様、イフコ・ジャパン様

福岡営業所

八女営業所

鹿児島営業所

グループ車両総台数：267台

日本ピザハット・コーポレーションを子会社化（2022年8月）

日本ピザハット・コーポレーションを子会社化し、BtoC市場に初参入

日本ピザハットの経営理念

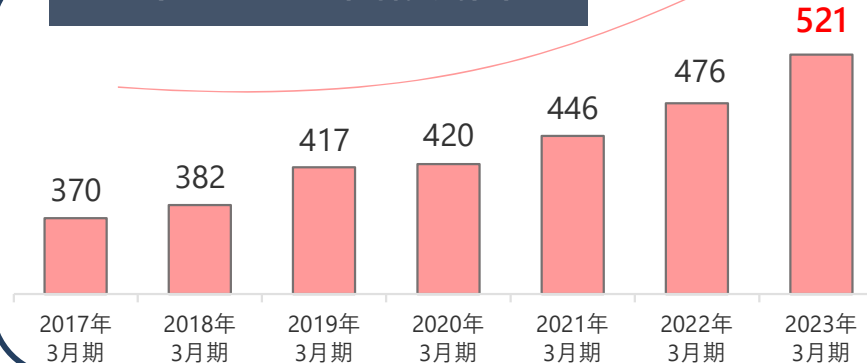
私たちは“ピザのチカラ”を通じて、
人々に笑顔と感動をお届けし、
明るい社会の実現に貢献します。



ピザハットの品質とおいしさのこだわり



日本ピザハット店舗数推移



ヤマエグループ

高品質な商材の
安定供給



物流ネットワーク
の提供



いつだって想像以上。



外食ブランド
成長率No.1



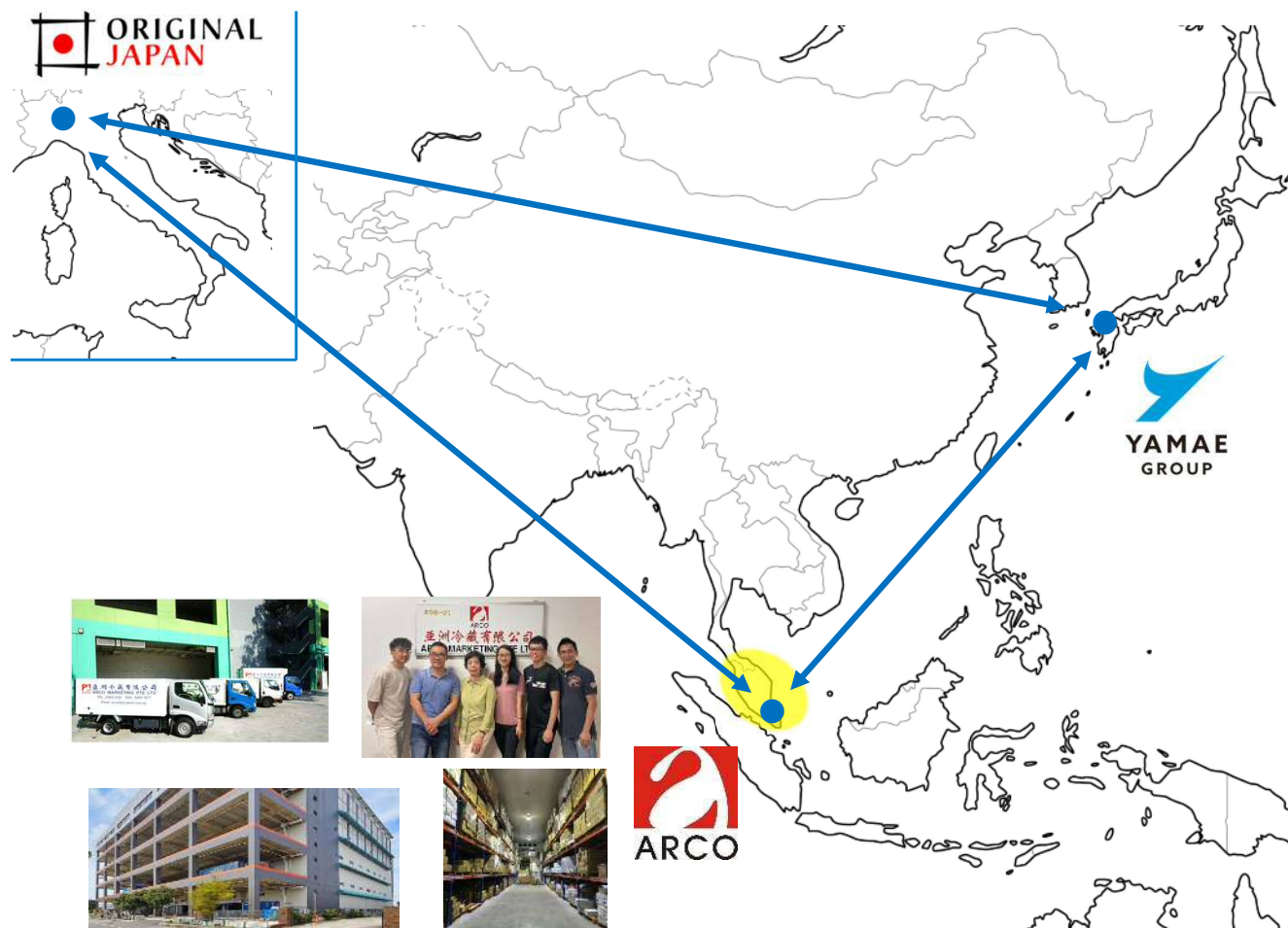
笑顔と感動

お客様

Arco Marketing Pte Ltd (アルコマーケティング)を子会社化 (2022年10月)

冷凍シーフード及び日本食加工食品の輸出入・販売を手掛ける
アルコマーケティングを子会社化 (本社：シンガポール)

■ 日本⇄イタリア⇄シンガポール3拠点による商材連携



取扱商品

冷凍シーフード

・ホタテ、サーモン、イクラ、ウナギ、エビ、タコ、イカ、カニ、サンマ、サバ等



日本食加工食品

・揚げ物、惣菜類



その他

・焼きのり、しょうが等



東南アジアにおけるハブとしてグローバルに展開し、日本食文化の魅力を発信

独自の鮮度管理技術を有するトワードと低温物流および食品リサイクル分野において資本業務提携

【低温物流】

ヤマエグループの顧客基盤・提案力とトワードの鮮度管理技術・配送網を掛け合わせ低温物流事業の一層の強化を図る



【食品リサイクル】

外食産業などから排出された食品残渣を堆肥化し、販売する『循環型』のビジネスモデル構築





参考資料

※「2022年3月期決算説明会」掲載内容の一部を再掲

ヤマエグループホールディングス グループ企業一覧（2023年3月末）

所在地	会社名	事業内容	所在地	会社名	事業内容	
福岡県	ヤマエ久野株式会社	主に食品関連、住宅・不動産関連等において商品の販売、製造、加工等を行う卸売業	福岡県	福岡農産株式会社	精米卸売業	
	高千穂倉庫運輸株式会社	運送、倉庫業		株式会社福岡ワールドグレイズ	輸入有機米事業	
	ヤマエ石油株式会社	石油製品販売、車両整備、損害保険取扱		YGL株式会社	持株会社	
	株式会社リンネット	情報処理およびソフト開発		九州栄孝エクスプレス株式会社	一般貨物運送、利用貨物運送、自動車整備	
	株式会社ワイテック	木材加工および住宅用建築資材の販売		ライゴ-エクスプレス株式会社	一般貨物運送、利用貨物運送	
	ヤマエレンタリース株式会社	レンタカー事業		株式会社誠信運輸センター	一般貨物運送、利用貨物運送、冷蔵冷凍倉庫の運営	
	ヤマエ菓子株式会社	菓子の卸売		ヤマエリアルティ株式会社	不動産の所有・賃貸・売買ならびに仲介業務	
	デリカSFホールディングス株式会社	持株会社		株式会社クイックス	畜肉加工および畜肉惣菜の製造販売	
	株式会社デリカフレンズ	弁当惣菜の製造、販売		熊本県	株式会社日装建	建設工事業
	株式会社惣和	惣菜類の製造、販売			日装ビルド株式会社	不動産の保有、賃貸、売買、管理、仲介等
	双葉産業株式会社	弁当惣菜の製造、販売			有限会社津山青果	青果卸
	株式会社鹿島技研	一般建設業、鋼製型枠・金物・鉄筋製造業、ISベース柱脚事業			トイメディカル株式会社	医療機器、健康食品、美容品の開発および販売
株式会社栄住産業	屋根・バルコニー・人工芝・物置の据付工事、資材販売業	佐賀県	株式会社トワード	ロジスティクス事業、情報システム事業、食品リサイクル事業		
西本建設工業株式会社	管工事業、空調換気・消防施設工事業	宮崎県	高千穂酒造株式会社	焼酎の製造および販売		
あしたも株式会社	ピザ・その他飲食事業（ピザハットのフランチャイズ運営）、スポーツクラブの運営等	鹿児島県	株式会社クオリティファーム	養豚業		

ヤマエグループホールディングス グループ企業一覧（2023年3月末）

所在地	会社名	事業内容	所在地	会社名	事業内容
沖縄県	YLO株式会社	CVSセンター運営事業	兵庫県	丸永株式会社	飼料の製造、販売・動物用医薬品および畜産用機材器具の販売、畜産農業、素畜・食肉および鶏卵の販売
東京都	みのりホールディングス株式会社	持株会社		有限会社マルナガファーム	養豚業
	株式会社河内屋ジェノス	業務用酒類卸		有限会社丸永エッグランド	養鶏業
	フィット株式会社	酒類、食品配送業	静岡県	株式会社オトスイ	水産物の集荷および販売
	株式会社TATSUMI	食材およびワイン中心のレストラン専門卸売業	宮城県	株式会社カネシメイチ	漁業、水産物卸売業、冷蔵倉庫業
	ワイ&アイホールディングス合同会社	持株会社（菓子卸 コンフェックスHLD(株)の株式保有）	シンガポール	Arco Marketing Pte Ltd	冷凍シーフードおよび加工食品の輸出入・販売
	株式会社アスティーク	建売分譲住宅販売・分譲宅地販売・注文住宅建築業	イタリア	ORIGINAL JAPAN S.R.L.	飲食店経営、貿易業務
	株式会社アスティークパートナーズ	不動産売買仲介事業			
神奈川県	日本ピザハット・コーポレーション株式会社	持株会社			
	日本ピザハット株式会社	ピザハット事業			
	ピザハット・エージェンシー株式会社	広告宣伝部門に係る業務			
千葉県	株式会社春日や	酒類卸、小売業			
栃木県	HVCホールディングス株式会社	持株会社			
	ハイビック株式会社	木材加工および住宅用建築資材の販売			

〈ヤマエグループ〉 広がる事業領域

- カネシメイチ
- 津山青果



- デリカSFホールディングス
- デリカフレンズ
- 惣和
- 双葉産業
- 高千穂酒造
- トイメディカル
- クイックス
- ★ リンネット



- ▲ ■ ヤマエ久野
- みのりホールディングス
- 河内屋ジェノス
- フィット
- TATSUMI
- ヤマエ菓子
- 春日や
- オトスイ
- YLO
- ワイ&アイホールディングス



- 日本ピザハット・コーポレーション
- 日本ピザハット
- ピザハット・エージェンシー
- ★ ヤマエ石油
- ★ ヤマエレンタリース
- ★ あしたも
- ◎ ORIGINAL JAPAN



調達（一次産業）



製造・生産



卸売・物流



販売・小売

サプライチェーンの川上（一次産業）から川下（最終消費者）まで一気通貫したビジネスを展開

- ▲ 丸永
- ▲ マルナガファーム
- ▲ 丸永エッグランド
- ▲ クオリティファーム



- HVCホールディングス
- ハイビック
- ワイテック
- 日装建
- 鹿島技研
- ▲ 福岡農産
- ▲ 福岡ワールドグレインズ



- ★ 高千穂倉庫運輸
- ★ YGL
- ★ 九州栄孝エクスプレス
- ★ ライゴエクスプレス
- ★ 誠信運輸センター
- ★ トワード
- ◎ Arco Marketing



- 栄住産業
- 西本建設工業
- アスティーク
- アスティークパートナーズ
- 日装ビルド
- ヤマエリアルティ



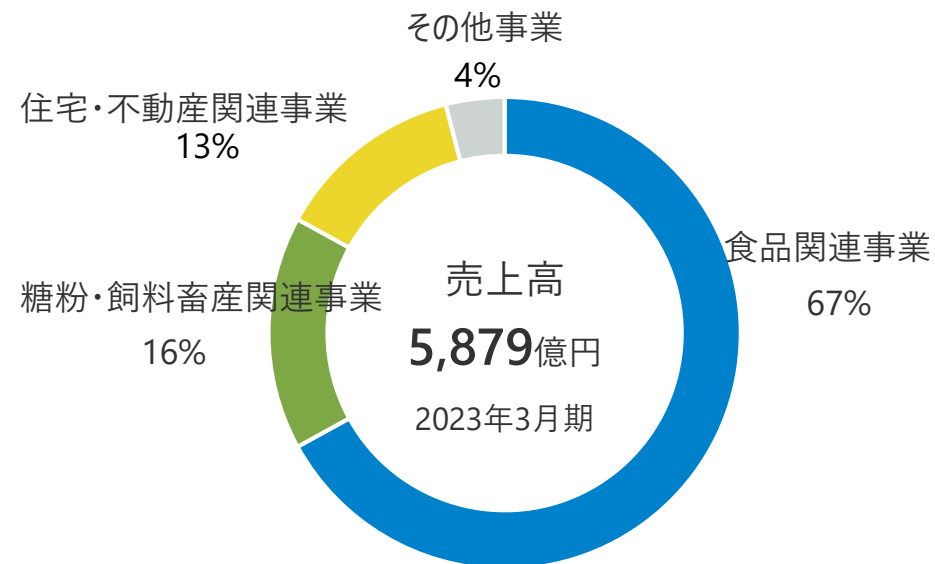
● : 食品関連 ▲ : 糖粉・飼料畜産関連 ■ : 住宅・不動産関連 ★ : その他 ◎ : 海外

沿革、売上高構成比、業態推移

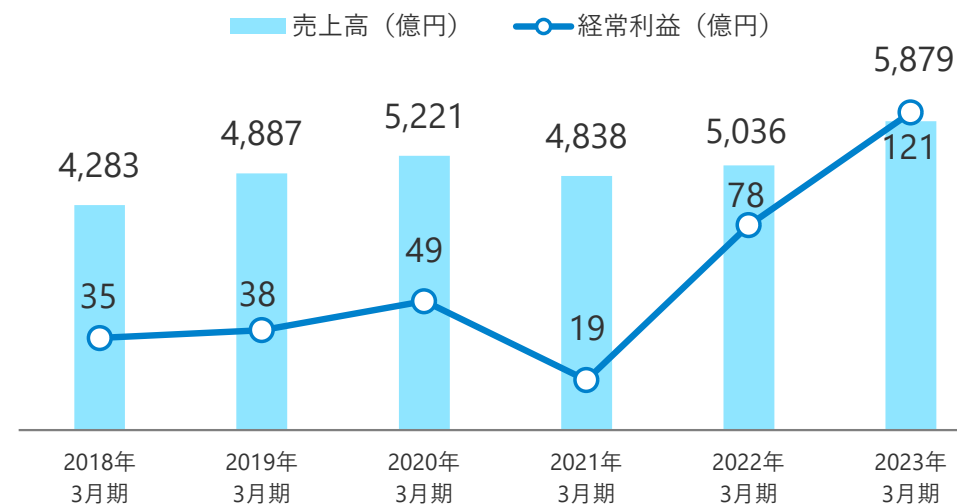
沿革

1950年	(株)江夏商店を設立
1966年	ヤマエ商事(株)に商号変更
1969年	久野食糧(株)と合併、ヤマエ久野(株)に商号変更
1974年	福岡証券取引所へ上場
1983年	大糖商事(株)（現大阪支店）を吸収合併 関西エリア進出
1986年	(株)丸中（現東京支店）を吸収合併 関東エリア進出
1995年	子会社(株)フレンドリーデリカ（現(株)デリカフレンズ）にてコンビニエンスストア向け米飯事業開始 米飯事業開始
2005年	(株)ワイテックを設立 プレカット事業開始
2017年	デリカS F ホールディングス(株)を設立し、(株)惣和・双葉産業(株)を子会社化 米飯事業拡大 みのりホールディングス(株)を子会社化 (株)日装建・(株)TATSUMIを子会社化
2018年	ORIGINAL JAPAN S.R.L.（イタリア現法）を設立 海外進出
2019年	HVCホールディングス(株)（ハイビック(株)）を子会社化
2020年	東京証券取引所第一部へ上場/設立70周年 (株)鹿島技研を子会社化 (株)栄住産業を子会社化 あしたも(株)を設立 フィットネス事業開始
2021年	(有)津山青果を子会社化 ヤマエグループホールディングス(株)を設立し、持株会社体制へ移行 (株)カネシメイチを子会社化 (株)アスティークを子会社化 トリゼンクオリティオーシャンズ(株)を設立
2022年	福岡農産(株)、丸永(株)、九州栄孝エクスプレスグループを子会社化 日本ピザハット・コーポレーション(株)を子会社化 BtoC事業開始 Arco Marketing Pte Ltd、(株)クイックスを子会社化
2023年	(株)トワードと資本業務提携

セグメント別売上高構成比



業績推移



中期経営計画

NEW STAGE 2022

- 「食」、「住」を事業のベースとしつつ、既存の枠にとらわれず、第三の柱となる新たな事業領域への挑戦
- AIをはじめとした先端技術活用による次世代流通と事業モデルの追求
- 売上高6,000億円、経常利益72億円の実現
- 九州トップクラスの処遇実現

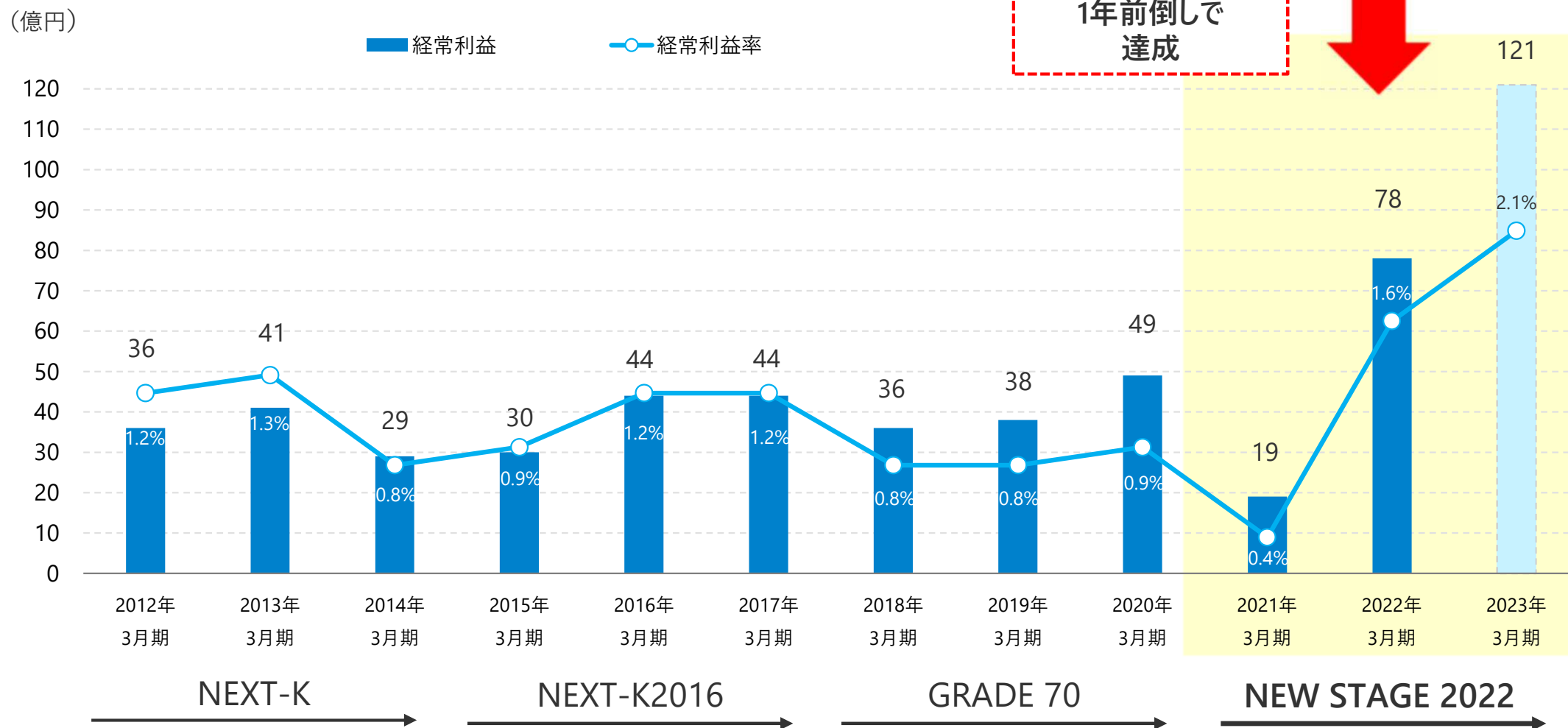
基本方針

「クオリティ」と「ビッグ」を両立させ、新たなステージへと進化する

上場企業として当然の使命である成長（規模拡大）を実現した上で、全役職員が様々な意味でのクオリティ（経営品質、SDGs）の向上を目指す

中期経営計画 / 経営目標進捗

2023年3月期目標数値（連結）	売上高	経常利益	経常利益率
	6,000億円	72億円	1.2%



中期経営計画「NEW STAGE 2022」取り組み状況

物流戦略

AIをはじめとした先端技術活用による次世代流通モデルの追求

- 自動倉庫・AGV・無人フォークリフト・アームロボットの導入（推進中）
- ヤマエ久野物流部門再編成（2022年4月）
- 拡張性、柔軟性を企図した次期基幹システム構築着手（2022年4月）

新規事業戦略

新しい事業領域への挑戦 — 「食」「住」に次ぐ第三の柱を模索

- フィットネス事業に参入（2021年11月）
- トイメディカルを持分法適用会社化（2021年12月）
- トリゼンクオリティオーシャンズを設立し、循環型ビジネスに参入（2022年4月）
- 日本ピザハット・コーポレーションを子会社化し、BtoC事業に初参入（2022年8月）

M&A戦略

M&Aによる水平・垂直・新規事業分野への進出を加速

- 丸永を子会社化（2022年5月）
- 九州栄孝エキスプレスグループを子会社化（2022年7月）
- Arco Marketing Pte Ltdを子会社化（2022年10月）
- クイックスを子会社化（2022年11月）
- トワードと資本業務提携（2023年2月）

エリア戦略

九州で圧倒的シェアの堅守 / 九州外エリアでの基盤確立

- 常温・チルド弁当、チルド惣菜等の製造に対応した新工場設立（進行中）

特徴：幅広い商材のワンストップ供給と独自サポート提供で重要パートナーへ

サプライチェーンの川上（一次産業）から川下（最終消費者）に至る幅広い商材をワンストップで供給
当社独自のサポート機能を提供することで、顧客の事業における重要パートナーとなり安定した売上高・利益を確保

食と住分野の顧客にとって、当社は重要な事業パートナーの位置づけ



特徴：創業の地「九州」への密着

九州を本拠地として70年以上に亘り事業を展開

産物・商材の情報の獲得

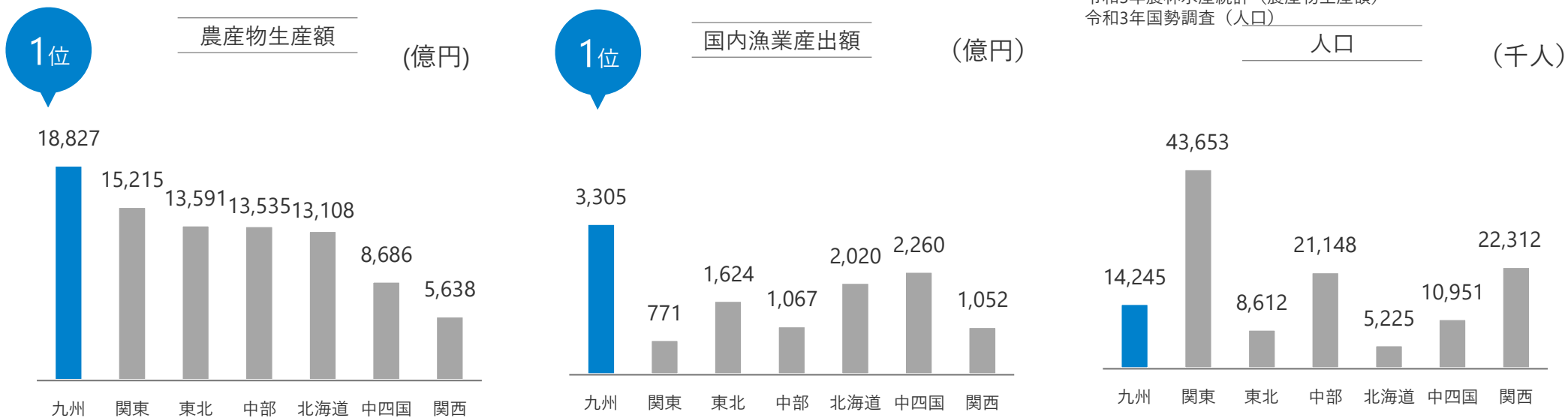
地場企業・生産者との
深い関係性の構築

商材の品質確保、
安定供給体制を確立

商材・サービスのブランド化による高い利益率の確保

九州は日本の食料基地

出典：令和2年農林水産統計（国内漁業産出額）
令和3年農林水産統計（農産物生産額）
令和3年国勢調査（人口）



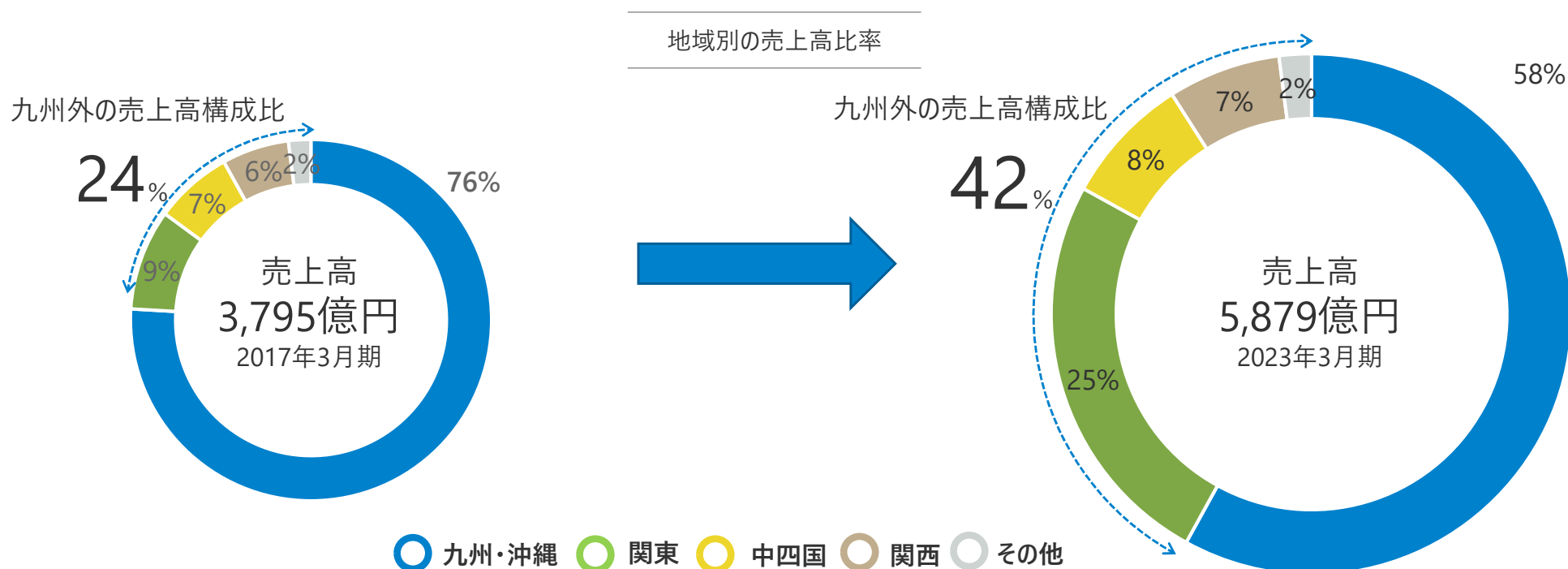
特徴：さらなる成長を求めて九州から全国へ

約4,800社の仕入先から九州地場の商材を発掘・育成し品質確保、安定供給を実施

全国展開を目指す顧客との共生を核とした事業エリアの拡大

戦略的なM&Aを実施

九州をブランド化して全国へ展開



特徴：さらなる成長を求めて九州から全国へ

拠点数：約197カ所

グループ企業：53社

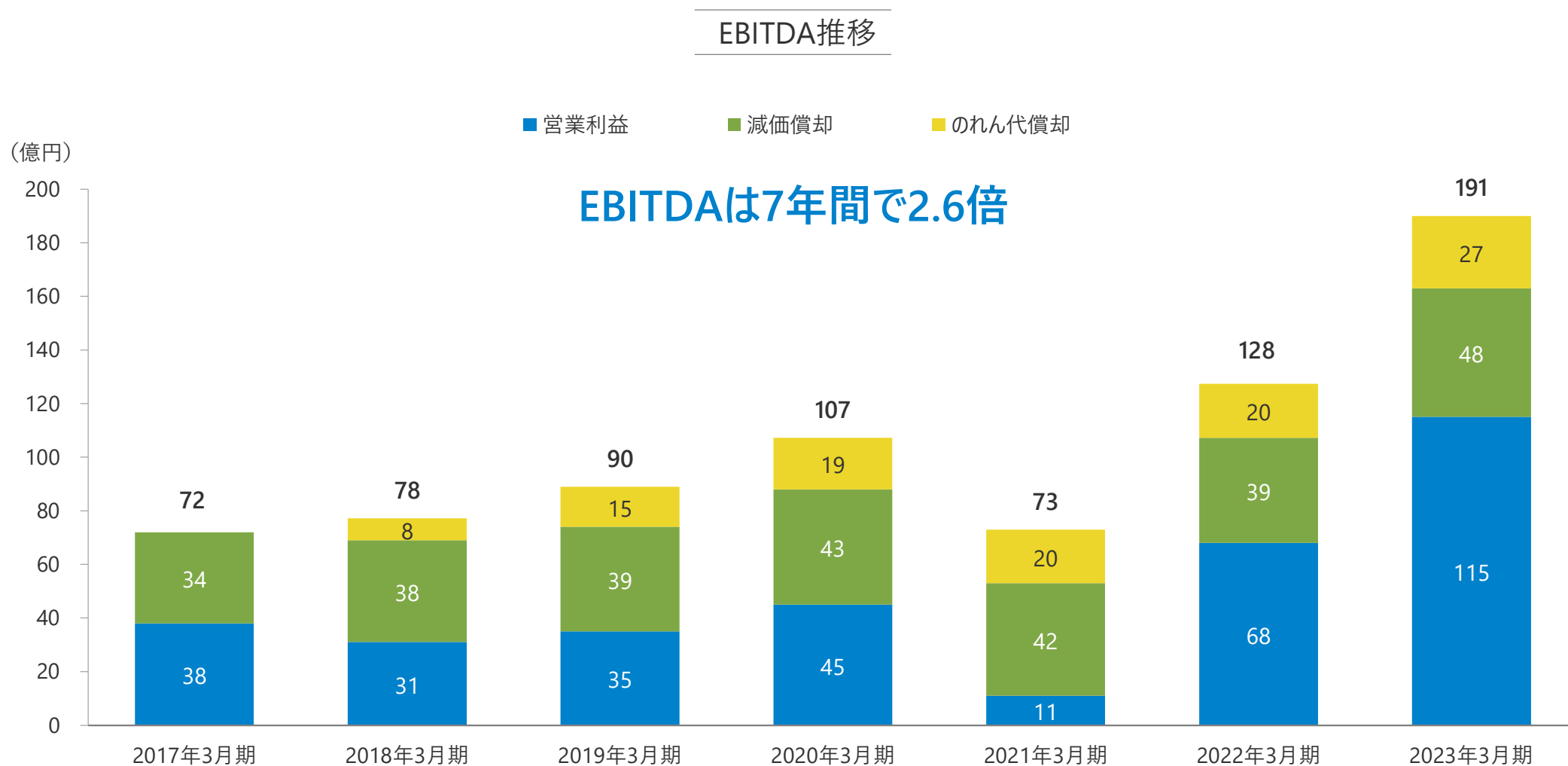
従業員数：12,829名

※パート・アルバイト含む
※2023年3月末



EBITDAの推移

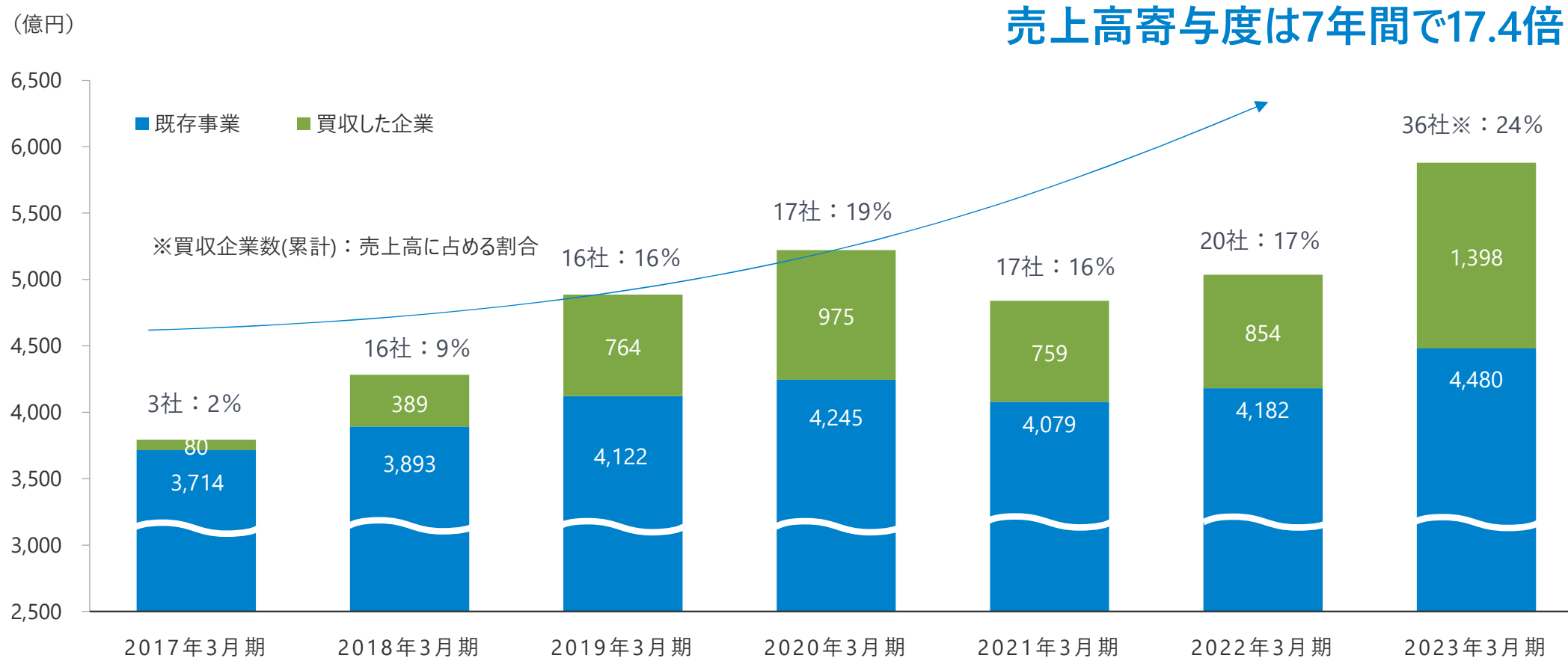
2023年3月期は過去最高



M & Aによる売上高への寄与

積極的なM&Aにより事業領域、取引エリアの拡大

買収した企業による売上高寄与額の合計推移



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な不確定要素により異なる場合がございますことをご了承ください。

お問い合わせ

 ヤマエグループホールディングス

E-mail

ir@yamaegroup-hd.co.jp